



ひら  
啓一

横山啓一 市議会だより

2020年10月号

〒070-0824 旭川市錦町15丁目2979-6

TEL/FAX (0166) 55-5584

E-mail: yokoyama@k-yokoyama.net

## 新型コロナ第4次、第5次緊急対策を審議

7月22日開催の第4回臨時会、9月10日開会の第3回定例会において、**新型コロナウイルス感染症に関する第4次、第5次の緊急対策**を含む一般会計・病院事業会計補正予算案などが審議され、原案通り可決しました。

### 第4次緊急対策 (第4回臨時会 7月22日議決)

- ①**医療・保健、市民生活対策** ▶感染症センター構築など市立病院の体制強化、PCR検査体制強化、福祉施設や市民活動施設の感染リスク低減対策、市民文化会館などの施設使用料減免などに 5億3810万8千円
- ②**学校教育関係** ▶小中学校の感染症対策・学習保障のための物品等の購入、トイレ洋式化の拡充、学校・家庭インターネット環境整備などに 9億1490万6千円
- ③**経済対策(生活者・事業者)** ▶準要保護世帯の長期休業中授業日の給食費援助、中小企業のIT導入支援、旭川産新米PR支援事業などに 7021万5千円

**総額 15億2322万9千円**

(うち地方創生臨時交付金 8億7708万9千円)

### 第5回緊急対策 (第3回定例会 議決)

#### 9月15日議決分

- ①**医療・保健、市民生活対策** ▶感染症センター設置のための病棟改修、24時間対応コールセンター設置、保育所等従事者への慰労金支給、市民課窓口支援システム導入などに 11億7711万1千円
- ②**経済対策(生活者・事業者)** ▶高校生対象の合同就職説明会開催、中心部以外の地域対象のプレミアム飲食券発行などに 10億815万5千円

#### 10月9日議決分

- ①**医療・保険対策** ▶インフルエンザ流行期を見据えた1次医療機関の発熱外来体制構築、PCR検査体制の充実などに 1億7125万9千円
- ②**経済対策(事業者)** ▶プレミアム付商品券の追加発行のために 4億4840万円

**総額 28億492万5千円**

(うち地方創生臨時交付金 12億7265万5千円)

## 第3回定例会が終了 2019年度会計決算、補正予算などを審議

9月10日から30日間の会期で第3回定例会が開催され、2019年度一般会計・各特別会計等の決算認定、一般会計等の補正予算案、市民交通傷害保障条例の廃止案などが審議されました。

閉会日の10月9日には、「**2021年度予算編成における教育予算の確保・拡充と就学保障の充実を求める意見書**」を民主・市民連合会派とともに提案し、賛成多数で採択させることができました。

### 決算審査特別委員会

2019年度一般会計等の決算認定については、決算審査特別委員会に付託され、総務経済文教、民生建設公営企業の2分科会で、6日間にわたる審議の後、10月9日の本会議で原案通り認定されました。総務経済文教分科会において、以下の内容について質疑、指摘を行いました。

#### ◇特別支援教育補助指導員、学校司書、スクールカウンセラーなど、小中学校への人的な配置について

▶コロナ対策の中で議論が高まってきた少人数学級編成の維持・拡充、学校現場からの要望に対して配置率の低い特別支援教育補助指導員の増員、学校司書の複数校兼務(2019年度は最大5校、2020年度は4校)の解消、名古屋市の先行例にあるスクールカウンセ

ラーの常駐化に向けた検討などを指摘

#### ◇フッ化物洗口事業の現状と課題について

▶人体への不使用を製造者が求めているフッ化ナトリウム試薬を教職員が扱うことへの疑義、医薬品の使用が薬剤師等による洗口液準備の必要性、児童の2割が未実施のうえ、コロナ対策の中で中止となっている事業の必要性や正当性などを指摘

#### ◇ジオパーク構想推進活動について

▶構想推進の課題、地域おこし協力隊のジオパーク専門員としての活動評価、神居古潭やサイクリングロードの再評価を含め、市民による地域資源の価値共有とその推進のための活動の活性化などを指摘



決算審査特別委員会での質疑

#### ◇優佳良織技術伝承支援事業について

▶補助事業の意義と「優佳良織」の価値の認識、「伝承の会」による今後の事業の展望、旭川に根ざした工芸品生産や観光資源として認知されてきた経緯をふまえ、地場産業としての育成、新たな雇用創出という観点からの支援の可能性などを指摘

## 本会議一般質問

9月18日・23日・24日の3日間  
で一般質問が行われました。今回  
は、①小中学校の働き方改革、  
②市奨学金などの就学支援、③  
旭川市の文化・観光資源の利活  
用の3点について質問し、市の考えをた  
だしました。



9月24日、一般質問に立つ

週休日の勤務や持ち帰り業務の状況、さらには休む  
ヒマなど無い休憩時間の勤務実態などから、市教委が  
把握している勤務時間の状況は不正確なものと言える。  
給特法改正による「変形労働時間制」導入は、少なく  
とも長期休業中の時間外勤務がゼロになっていること  
が前提。市教委は、正確な勤務実態の把握のうえ、管  
理職だけではなく、教職員個々の声をしっかり  
受け止め、制度導入には慎重な判断を下すべき。



### 小中学校の働き方改革について聞きました

- ◆2019年度の勤務時間の状況  
はどうなったか
- ◆週60時間を下回る時間外  
勤務の状況や、週休日の勤務、  
持ち帰り業務の状況は
- ◆昨年「給特法」改正にと  
もなう「学校管理規則」改  
正の内容は
- ◆「1か月45時間以内の時  
間外勤務」と推進プランとの  
整合性は

- ▶週当たり60時間を超えて勤務した教職員の割合は、小学校で2.1%、中学校で6.7%、小中全体で3.7%となっている。月別には、4月～6月は比較的高い傾向にある一方、8月と1月は低い傾向が見られる。
- ▶市教委として教職員個々の状況は把握していないが、教職員へのヒアリングや意識調査などからは、学校行事や部活動指導等で週休日の出勤、教材研究や授業準備など校務に関する業務の持ち帰りの状況があると認識している。
- ▶文科省が告示した指針によって、教育委員会が教育職員の在校等時間の上限等に関する方針を定めることになり、管理規則の所要の改正を行った。その内容は在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間を1か月45時間以内、1年間360時間以内とするというもの。
- ▶学校管理規則の改正に伴い、推進プランの達成目標についても、規則と同様に「1か月45時間以内の時間外勤務」とした。これまでの推進プランの目標「週60時間の勤務」は1か月の時間外勤務にすると約80時間に相当することから、以前の目標に比べ、より厳しい目標となった。

### 市奨学金などの就学支援について聞きました

- ◆市奨学金の貸付対象から通  
信制が除外されているが、  
対象にすべきではないか
- ◆給付型奨学金を入学支度金  
にも広げる考えはないか

- ▶対象外となっていた経緯は確認できない。入学時期や修学年限が不定期であるため、貸付期間や返済開始時期の特定など、現状では課題がある。しかし、今年度開始の「給付型奨学金」は通信制も対象としていることから、課題を整理し、対象とするよう検討していく。
- ▶限られた育英事業基金を財源とするため、今後の実績を見据えていく必要がある。また、入学前の支度金支給には、制度の抜本的な見直しも必要になる。しかし、近年の好調な寄付金や基金残高の状況をふまえ、何らかの制度拡充に努めたい。

### 旭川市の文化・観光資源の利活用について聞きました

- ◆WEB所蔵作品展の目指すところ  
は
- ◆通行止めが続いているサイ  
クリングロードの現状と今  
後の見通しは
- ◆コロナ後の観光の在り方、  
市民や近隣住民への観光資  
源の発信は

- ▶市が所蔵する旭川市ゆかりの芸術家の作品を、外出しなくても鑑賞できる機会の創出として企画した。11月以降、市民ギャラリーにおいて「教育委員会所蔵作品展」として展示を予定している。
- ▶伊納大橋から神居古潭までの約8.6kmを落石危険区間として、2010年から通行止めになっている。全面開通には20億円以上の工事費がかかると試算している。近年のサイクルツーリズムの観点からも、現在、迂回路としている国道12号へのルート変更などを視野に入れた検討が早急に必要と考える。
- ▶海外観光客の減少、国内旅行の形態の変化などから、観光客に限らず、市民や近隣自治体の方々に、改めてこの圏域の魅力に触れ、認識や愛着を深めてもらうことは重要。魅力ある観光地域づくりに向け、圏域内の関係者とも連携していく。

市民自身が自分の住む街の魅力や価値に気づき、高めることなしに、他の地域の方々に理解されることはないはず。大雪山系や石狩川水系流域の豊かで特異な自然、アイヌ文化や開拓の歴史、様々な芸術活動の振興など、旭川市のもつ多様な資源を観光資源として利活用するには、市民自身がその価値を共有し、支えていく意識が醸成されなければならない。そうした方向に文化、観光行政が発展していくことに期待する。



◆**コロナ緊急対策**として多額の財政出動が行われましたが、本当に適正な使い方だったのか、どこかでしっかり検証する必要があります。そして、なぜもっと前から医療や教育に回せてこなかったのかも。市民の納めた税金が特定の個人や企業、団体を利することに使われていないか。その監視、検証のために、選挙の投票、政権交代もあるはず。◆**この国の欠陥**もコロナ禍の中で顕わになりました。とくに、他人と同じ思考や行動を求める強い「同調圧力」の影響を指摘する声が大きくなっています。「人と違う」ことがもっと当たり前にならないと、個人の自立や人格の完成は遅れ、やがては世界の潮流からも取り残されます。◆**無所属議員**としての活動は、皆様からのご意見、ご要望、ご相談などが支えになっています。公式HPの他、Facebookにも参加していますので、ご利用ください。もちろんメールやFAXでもお寄せください。今後ともよろしく願いいたします。(啓)